

新聞ごはん

第85号

2011年6月

発行者

リトル・スター・レストラン

インターネット無線スポット

FREE SPOT

あります。

「毎月新聞ごはん」は、リトル・スター・レストランが発行している新聞です。



小星人語

小さい頃は、「夏・海・日焼け」は常にセットで、日焼けしていなければ寂しいぐらいであった。時代は流れ、日焼けサロンや美白ブームとは無縁に生きてきたけれど、それなりに自分も年を取り、シミそばかすシワたるみなど文字になると悲しい現象と無縁ではなくなってきた▼プランナーの仕事をしていたころ、某化粧品メーカーのマーケティングの仕事を請け負ったことがある。経費で高級化粧品を自由に買って使うことのできる「おもしろい」仕事であったのだけれど、いくら使っても、いくら試しても、心の底から満足できる化粧品には出会えず、結局化粧品放浪をする羽目に▼あれから仕事も変わり、自分の生き方がはっきりしてから、あの時「これ」という化粧品に出会えなかつたのは、自分を分かつていいなかつたからだと気がついた。年を重ねるようになつた。肌の上に重ねるモノが増えしていく生き方は、コストがかさむし面倒くさい、私らしくもない。年とともに、内面的には心の広さと懐の深さをもち、表現的には質感を大事にシンプルに。これが「ありたい私」なのだ▼化粧品だけではなく、食事も、洋服も、生活と共にあるもの様々なものたちも、本当に自分らしいものを選び、育てたり消費したり慈しんだりする。自分らしさを選ぶ眼をもち、シミそばかすシワも受け入れて、スッピンの自分に向き合ふと、放浪時代が終わろうとしていることに気がつくのだった(麻)



毎年自家製梅酒と一緒に漬ける「梅りんご酢」をトニックで割つけていた、爽やかな酸味の「梅りんご酢」ほの甘苦い大人の味。当店定番のミックスカッッシュで割りもスカッシュですね! ひんやり、夏が樂しくなる自家製スカッシュ、いかがですか?



やってみたかったこと。 じっくりゆっくり果実酒作り。

夏が近づいて来るのを感じると、なんだかワクワクします。レジマー、夏ならではの料理を作ったり・やりたいことがいっぱいです。毎年いくつも計画に入れますが、なかなか実行出来ないのがわたくし笑いや今年こそはガッカリサマーにならぬよう、片っ端からやってしまえばいいじゃない!という訳でまず、果実酒作りに挑戦してみました。

青梅を買って梅酒にする予定でしたが、五月終わり頃だったのでも、青梅はまだ店頭で出ていませんでした。梅はもう少し待つことにして、リトルスターレストラン同ビル一階にあるヒロヤショップさんで、大きな甘夏みかんを購入。爽やかに、柑橘系です。

甘夏はよく水洗いして、水気を拭き取ったら、ピーラーで外側の表皮を薄くむきます。残りの皮と白いわたをむき取って実を厚さ三センチほどの輪切りに。殺菌した保存瓶に、甘夏の実を種ごとに、表皮、水砂糖を入れます。最後にホワイトリカーを静かに注ぎ入れます。ときどき瓶を上下にして混ぜ、二週間~一ヶ月後、甘夏の実と表皮を取り出します。これであとは飲み頃まで待ちます。意気込んで挑戦した果実酒作りでしたが、こんなに簡単だったなんて。。。早く飲みたい気持ちを抑えて、熟成を待つ!

レシピによると、漬けた三ヶ月目くらいから飲めるそう。解禁は九月初めです。漬けてから三週間目、ホワイトリカーリーの色が透明から、甘夏の鮮やかな黄色に変わって来ました。せっかちな方なので「待つ」のは苦手ですが、少しずつ変わっていく様子を眺めるのも、楽しみの一つになりました。ロックや水割りのほか、お湯で割ったり、九月はきっと残暑も厳しいので、フルーツゼリーみたいに凍らせて食後のデザートに、想像はふくらみます。季節の果物はもちろん、甘夏もまだ出しているので、みなさんもいかがでじょうか?

もうはや私の命の水といつていい「ビール」という飲みもの。みなさん飲んでますか? 飲んでますよね。わたしは毎日飲んでいますよ。

毎日お世話になっているその「命の水」、ある若き日にふと思つてそいつをたくさん買つてきました。いや、たくさん買うのはいつものことなのだけど、その時はいろんな銘柄を6種類ほど。

そう、かれこれビールを飲み始めてはや〇〇年(あ)〇〇年(あ)ご想像におまかせというここで)。新発売のビールを買つては「あれは不味い」だの「やつぱい」だの「やつがい」だの「アーモンド味い」だの、居酒屋に行っては「あー〇〇かあ」と置いてあるビールの銘柄にケチをつけたりしていたので、改めて自分がどれだけ味の違いをわかっているのか、飲んで銘柄を当てる利きビール大会を開催してみようと思ったのです。

とはいっても、わかるだろ! プレミアムビールも混ざってるしね! と、6種類のビールをコップに入れてシャッフルシャッフル。もちろん答えはちゃんと後でわかるようにして。

「さてさて...ゴクゴク...あーうん、そっか...こっちは...ん? アレ? までよコレは? ...ええ?」

結果、プレミアムビールの二種類は外さなかつものの、そのほかの4種類は何一つ当てられませんでした。...はい、鑑定。

日々あたかも味がわかるかのように言いたい放題だった私は、なんともみじめな気持ち。そして何よりの衝撃は今まで一番スキだと思っていた銘柄のビールが「一番手な味」ではないと、思っていたビールが一番おいしかったと、思つたことから、当然一番おいしいと思つていたのビール...一口飲んでボロボロに言つておられました。お恥ずかしい。

いつの間にか銘柄のイメージや、本質の味を感じる力がいかにどうかにいつしまつてかってコトだなあ。いやあ、思い込みつて可愛いです。

毎日飲むのもだからこそ、一番好きなものを飲んでいたい! みなさんもぜひ一度「利きビール」を。自分のプライドがズタボロになる位の革命がおこるかもしれませんよ。

リトルスターで働き始めてから、三鷹の商店街の近隣のお店の方々や、通りすがりのお客様とご挨拶させて頂く機会を沢山持てるようになりました。たった一言の「こんにちは!」だけでもそこには「身近な場所で、お互い今日も元気で頑張っていますね」の意味が込められていると思います。

新リトルスター

木田 綾・選



江戸の売り声百景

岩波アクティブ新書

とひるで今回は江戸の売り声を寄席芸として完成させた宮田さんの本。下町育ちの宮田さんの幼少には、実際にもの売りの声が生活の中にごく普通にあったそうです。例えば朝早くは納豆やアサリ売り、昼間になると葉売り、夕方になると鰯屋等々という風に、庶民の時計代わりでもあったと言いますね。

戸弁のそれらは、挨拶とは違つけれども「今日も来ましたぜ!」など、人々の生活を活気付けていたに違いありません。私にとってそれに近いのは、リトスターの近所果物屋・一富士さんの売り声。その声を聴くと気持ちが盛り上がり、今日も元気な挨拶を交わすぞと思わせてくれる、



ママの偏愛マップ

01 モロッコの照明。

日々の生活中で好きだな、素敵だなと思えるものによく出会います。それは、味や香りだったり、手触りや色の組み合わせだったり、あるいは音やリズムだったりとさまざまなシチューションで私に語りかけてきます。そんな、私が偏って愛してやまない日常のあれこれを少しづつ紹介できたらなと思います。

リトルスターレストランの店内で、もしも「好きなものを一つだけ、自由に持つて帰つていよい」と言われたら（これは私が時々ひとりでこっそり楽しむ妄想ゲーム。偏愛の想いが募ると声高に主張したりもします）即答できるくら

いお気に入りのアイテムがあります。それは店内の天井に吊り下げられている二つのモロッコ製の照明。お店の名前「リトルスター」にも因んだ星型のものと球状のものがあり、どちらもステンドグラス調のとても手の込んだ造り。店内にぽっかりと浮かび、控え目にではあるけれども、きらきらと輝きを放つているそれこそ星! 毎日開店する際に店内の照明スイッチを入れるわけですが、点灯と同時にその照明に命が吹き込まれ、お店の空間が「リトルスターレストラン」として動き始める、私はいつもそう感じます。

3月の震災のあと、節電のためにキャンドルを灯しながらの営業の最中もその照明だけは点けていたのですが、それだけほの暗い店内がリトルスターレストランとしての佇まいをちゃんとそれらしくする力があるように思えました。やはり控え目ながら圧倒的存在感!

と言うのもその照明、お店を始めるにあたって店長が一番最初に購入した雑貨であり、「リトルスターレストラン」のイメージそのモノ! なんだそうです。

次回お店にいらした際には、その照明から漏れるほの灯りの温もりも大いに味わってみてくださいね。

父の転勤を機に、三鷹に来て14年。生まれて初めての一人暮らしを始めました。といっても、実家から自転車で15分程のところですが、この一度いい距離と光がたかさん入って、風通しのいい部屋が気に入っています。我が家を出る前日、そわそわしていた父は、そつと深大寺の魔よけのお守りをくれました。母からは、手作りのベッドカバーをもらいました。大好きな黄色がベースの美しいパッチワーク。

妹には引っ越しを手伝つてもらいました。戸惑つことが多いですが、これから起つる楽しいことを想像するだけ、やはり心踊ります。新生活を始めるにあたり、頭に浮かんだのは、岩井俊二監督の「四月物語」。大学進学を機に、高校時代に憧れていた先輩を追いかけて、たくさんの桜吹雪が舞う中、東京の武蔵野へやつ

てきだ女子・卯月の始まりの物語。両親が娘を思つて持たせたであろう、たくさんの荷物は、小さなアパートに入らず、右往左往する彼女がとても可愛らしい。自分で選んだ自転車。入学式、自己紹介、サークル。一人で入った映画館。作りすぎたカレー。お隣さんとの付き合い方。そして先輩との再会。彼女の戸惑いと、気持ちの高揚が手に取るようにわかります。岩井作品の主人公は、異色で、自分とかけ離れていることが多いのですが、彼女は一番平凡で、身近で、愛おしい。行動全てが、微笑ましくて、見る度にじんわりと元気が湧いてきます。因みに、冒頭で卯月（松たか子）を見送る家族役で、松本幸四郎一家が勢ぞろいで出演! 心配だけ、明るく娘を送り出す家族の姿が、演技とは思えず、ぎゅうっと胸が熱くなりました。



『四月物語』

vol.13



てきだ女子・卯月の始まりの物語。両親が娘を思つて持たせたであろう、たくさんの荷物は、小さなアパートに入らず、右往左往する彼女がとても可愛らしい。自分で選んだ自転車。入学式、自己紹介、サークル。一人で入った映画館。作りすぎたカレー。お隣さんとの付き合い方。そして先輩との再会。彼女の戸惑いと、気持ちの高揚が手に取るようにわかります。岩井作品の主人公は、異色で、自分とかけ離れていることが多いのですが、彼女は一番平凡で、身近で、愛おしい。行動全てが、微笑ましくて、見る度にじんわりと元気が湧いてきます。因みに、冒頭で卯月（松たか子）を見送る家族役で、松本幸四郎一家が勢ぞろいで出演! 心配だけ、明るく娘を送り出す家族の姿が、演技とは思えず、ぎゅうっと胸が熱くなりました。



7周年を迎えた6月、たくさんのお客さんにお祝いをいただいたり、言葉をいただいたり....そんなことでお店的にはまた1歳年をとったんだなと、お客さんによくしていただいてきたなーと、今までの日々のことをしみじ想います。ありがとうございます。

今年は特にお花をたくさんいただきました....中でも旬の芍薬が大きな花をじわじわ咲かせていく様はホントに見事で....あんな風に僕らも花を咲かせられるといいよねと、ちょっと思つたり(笑)、店長ミヤザキ的には、生まれて初めてこんなにバラを抱いた!(笑)と言うほど大きな花束!ホントに華やかなお誕生日、ありがとうございました。(お)



毎月恒例の月イチ連休、7月は海の日の連休にいただきます。みなさんには迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお願いします。

リトスター募金、はじまつてます。先月もお知らせしましたが、当店では7周年記念Tシャツの売り上げからは一枚につき手ぬぐいを、またこれから小さなグッズなどを作つてこの募金をコツコツ長く育てていこうと思っております。レジ脇にも



募金箱をご用意させていただい

7月の月イチ連休のお知らせ。毎月恒例の月イチ連休、7月は海の日の連休にいただきます。みなさんには迷惑をおかけしますが、何卒よろしくお願いします。

将来を力強く築いてくれますように...ワクワクモオーナー夫婦は今のところ子供のいない夫婦であります、髪を失った子供たちを「子供のいない大人が支えていこう」があってもいいよなく、ささやかではあっても、次の世代に対するひとつの責任と役割を果たしていきたいなと思つてお

る所存でございます。

7周年記念Tシャツの売り上げからは一枚

につき手ぬぐいを、またこれから小さなグッズ

などを作つてこの募金をコツコツ長く育て

ていこうと思っております。レジ脇にも

募金箱をご用意

させていただい

ております。み

なさんのご賛同、

ひとつよろしく

お願いします。

Little Star Restaurant

リトルスター/Restaurant/Mitaka, Tokyo

東京都三鷹市下連雀3-33-6 三京ユニオンビル3F

tel 0422-45-3331 (ご予約はお気軽にどうぞ)

holiday 毎週月曜日+不定休



ランチタイム 11:30 ~ 14:30

(土日祝は 12:00 ~ 15:00)

定番のチキンカレー定食とハンバーグ定食、さらに日替わり定食はホームページの毎日の更新でチェック!



ティータイム

14:30 ~ 18:30

(土日祝は 15:00 ~ 18:00)

スイーツに軽食、ドリンク各種。のんびりまったり読書にお仕事、おしゃべりもイイネ。FreeSpotのサービスはこの時間帯でどうぞ。



デナータイム 18:00 ~ 24:00

(日祝は ~ 23:00)

お食事にお酒、お一人からカップル・ご夫婦・お友達に同僚...おいしいごはんをたべながら楽しい時間をお過ごし下さい。なおこのお時間の喫茶のみのご利用はご遠慮いただいております。ご了承下さい。

PCでも携帯でも▶▶▶▶▶ <http://www.little-star.ws/>



「毎月新規ごはん」置いていたいってよ。

三鷹駅南口中央通りの「古書上々堂」さん「まほろば珈琲」さん、さくら通りの「三鷹の森書店」さん、吉祥寺通りジブリ美術館向かい「風のすみか」さん、連雀通り・南浦交差点近くの「こいけ菓子店」さん、人見街道沿い「あきゅらいす美菓品 森の食堂」さん、吉祥寺は「パウスシアター」さんこの小さな新聞を置いていただいております。ありがとうございます。

